



連携医療機関のご紹介

京ヶ瀬診療所 島田 克己

大学卒業後10数年は大学医局に属し一般病院での勤務経験は2年足らずで開業しました。そのため地域医療に対する考えは未熟で戸惑いながら夢中で診療してきました。

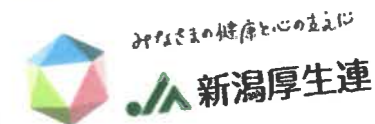
超高齢社会の今、病を診ることは全く同じですが、少しでも長く生きるという生命予後の重視より、幸せで穏やかな人生に重きを置いた診療方針に変えてきています。

さて「病院消防論」という考え方があります。火災が全くなく消防車が一度も出動しないとしても消防署は赤字だ、不要だとは言わない。存在自体が安全・安心になっているからです。病院も同様の側面があって一度も受診しない人にも病院が存在することで恩恵があるという考えです。利益追求が主目的の一般企業と同一視して病院運営を論ずることは出来ないと思います。

地域中核病院としてのあがの市民病院が再生しつつあることは本当に嬉しいことです。今まで大変お世話になってきました、感謝しています。これからもよろしくお願い致します。



あがの市民病院 スワンだより



水原まつり (8/24) 民踊流しに参加しました！



あがの市民病院は厚生連病院ということもあり、住まいが遠方の職員もおります。しかし、今回の民踊流しには阿賀野市を地元とする職員だけでなく、市外出身の職員も多く参加し、60名もの参加者を募ることができました。地域貢献を理念とする本院として、地域行事を盛り上げることに助力できたことは大変喜ばしいことであると感じています。また、台風の影響により、民踊流しが中止になることも懸念されましたが、無事全て踊りきることができたことも、水原まつりの盛り上がりによるものではないでしょうか。 親睦会事務局より

特別養護老人ホーム シンパシー 施設長 小野 貴之



今年は、例年以上に暑い日が続いておりますが、皆様の体調はいかがでしょう。

私たち介護施設では利用者様はもちろん、職員の体調管理にも気を配りこまめな水分補給を心がけ、ケアに支障をきたさないよう努めております。

また、この暑さでは外出を控えざるを得ない状況です。外出できない分、施設内で少しでも楽しんでいただけるよう、また季節を感じていただけるようにと毎年恒例の流しそうめんやカキ氷を楽しんでいただいております。食欲が落ちている利用者様も、いつもと違った雰囲気です。流しそうめんを美味しく食べていただく利用者様も、いつもと違った雰囲気です。カキ氷は、水分補給も兼ね実施しています。いちご味が断然人気です。

暑い中でも清涼感を！が、この夏のキーワードです。



あがの市民病院 〒959-2093 阿賀野市岡山町13-23
代表TEL 0250-62-2780
ホームページアドレス
<http://www.niigata-kouseiren.jp/hospital/aganoshimin/>



良質で心温まる医療を 地域の皆様へ



消化器病センターを開設！

今年4月に、消化器病センターを開設しました。あがの市民病院には、2名の消化器内科医師が常勤医として勤務しています。

このほか、新潟大学医歯学総合病院から毎日1名の先生が助勤業務に来ていただいています。

以前は曜日指定でした胃・大腸の内視鏡検査および外来診察を、毎日受けられるように改善いたしました。また、緊急症例にも対応できる体制にいたしました。

消化器内科業務の他、阿賀野地区の年齢人口比率を見つめたうえで“健康寿命延伸・先制医学”の研究にも取り組んでいきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

副院長 松澤 純

スタッフ一同



職場紹介【リハビリテーション科】



当院のリハビリテーション科は、常勤職員9名（理学療法士PT6名、作業療法士OT1名、言語聴覚士ST1人）が所属しています。老人保健施設の五頭の里には、PT1名、OT1名が所属し、訪問看護ステーションにはPT2名、OT1名が所属しています。

整形外科疾患、廃用症候群、内科疾患、中枢神経疾患、神経難病など幅広い疾患を対象とし、入院及び外来の患者様に急性期・回復期・維持期のリハビリテーションを行っています。患者様を中心にご家族や医療相談員・ケアマネージャーなどと常に連携して行けるように心がけています。退院時には、担当が家屋評価や退院時指導などを行い、退院後の生活までしっかりフォローをさせていただきます。密にコミュニケーションを取り合い、笑顔溢れる職場です。



藤森病院長のつぶやき

消化器病センターを今年4月から開設して、5ヶ月が経過しました。

8月上旬の新潟大学医学部健康講座塾の講演の中で、新潟大学消化器内科教授の寺井先生から、「患者さん負担の少ない経鼻内視鏡は今後の診療にぜひ必要」とのお話がありました。聞き入っていた参加者の大多数が賛同していました。8月下旬に地元医師会の講演会後の懇親の席での世間話の中で、負担の少ない経鼻内視鏡の話が出て、あがの市民病院にないことが残念との話も聞き漏れてきました。

折しも、秋から経鼻内視鏡を導入すべく準備していたんです！！市民の皆様、お待たせいたしました。あがの市民病院で経鼻内視鏡ができるようになります。

